

自己点検・評価表 (ISO 29990 対応版 Ver. 3.0)

実施日: 令和 2 年 12 月 21 日

学校名: 情報科学専門学校

1. 学校の教育目標

(1) 高度な技術力の修得

卒業後、社会に貢献できる実践的な技術を最新のニーズに対応して習得させる

(2) 文章作成能力の育成

高度IT社会で重要となる明快で豊かな国語力を日々の授業を通して育成する

(3) 豊かな人間性の涵養

感動ある学生生活を通じて礼儀・感謝する気持ちを備えた豊かな人間性を涵養する

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

課題	方策	成果指標
トップガン人材を育てよう	<ul style="list-style-type: none">実践 AI 科開設準備G-Leader 留学支援プログラムの開始	<ul style="list-style-type: none">実践 AI 科カリキュラムロードマップの作成G-Leader 留学支援プログラム活用者数
指導力を高めよう	<ul style="list-style-type: none">学生間教え合い学習の推進企業との共同研究、ビジネス支援の獲得	<ul style="list-style-type: none">新規 e ラーニング対応授業開発数産学連携プロジェクト成果報告件数
地域経済に貢献しよう	<ul style="list-style-type: none">横浜市との協業による新ビジネスの発掘非 IT 業界（小売、金融、物流等）との産学連携の開拓	<ul style="list-style-type: none">横浜市との協業実績数非 IT 業界とのアイデアソンやブレゼンテーション実施数

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
1	1	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
1	2	4 ③ 2 1	職業実践専門課程様式 4 教育課程編成委員会議事録
1	3	4 3 ② 1	入学案内パンフレット 学校ホームページ
1	4	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
1	5	4 3 ② 1	入学案内パンフレット 学校ホームページ

① 課題

- ・学校の教育理念は開学以来、明確に示されているが、必ずしも専門分野の特性が明確になっているわけではない
- ・学生に対しては入学前にパンフレットを使用して説明しているが、入学後に全体周知する機会は設けられていない。
- ・各科目の学習ガイド(シラバス)は学科等の育成人材像を踏まえて設計されているが、一部科目では学習ガイドの到達目標の記載が不十分である

② 今後の改善方策

- ・令和 2 年度からの全科目 LMS(e ラーニングシステム)対応化を契機に、全科目の学習ガイドを育成人材像に合わせて再整備する
- ・令和 2 年度は対面での保護者説明会が行えないことを踏まえて、オンラインでの保護者説明会等の機会または保護者向け文書等により、「理念・目的・育成人材像・特色・将来構想」等を保護者に周知することとする。

③ 特記事項

2 学校運営			優良…4、適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	エビデンス(文書番号)
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式 4
2	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1	組織図と会議体制
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 ② 1	組織図と会議体制
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1	令和 2 年度業務計画キックオフ資料
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1	業務グループ別年度計画
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1	人事・給与規定
2	7	専任教員は適正に配置されているか(専任教員や非常勤講師の適当な担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか)	④ 3 2 1	R01 担当割・教室割
2	8	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4 3 ② 1	非常勤 g-mail アドレス一覧 非常勤講師出勤簿
2	9	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1	就業規則、問合せ窓口の情報
2	10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程様式 4 キャンパスブログ
2	11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	学習支援システム inavi lsc 学習ポータル i ポータル
2	12	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4 ③ 2 1	業務GL会議資料 業務GL会議議事録
2	13	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 ③ 2 1	学校関係者評価会議事録 担任会議議事録
2	14	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4 3 ② 1	学習支援システム inavi の「保護者向けコメント」

① 課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大を契機に教職員の遠隔勤務を開始している。年初(1月)から遠隔会議システムやVPN(在宅で職場のPCに接続するシステム)、グループチャットシステムなどを整備し、環境は整ったものの、主に以下のような場面でのコミュニケーションに改善の余地がある。
 - －教職員同士の業務の引継ぎ・学生指導上の情報共有
 - －教職員から学生への教学・学生生活上のアドバイスや迅速な支援
 - －非常勤講師と密に連携した教科指導
 - －保護者からの電話問い合わせに対する適切・迅速な対応
- ・H29年度よりeラーニング・オンライン授業に取り組んできた蓄積があり、授業のオンライン化はスムーズに進んでいるが、そこから得られた学習履歴データを分析し、業務改善に活かす段階には至っていない

② 今後の改善方策

- ・遠隔会議システムを活用し、学年ごとの教職員会議を定例化。また、議事録も教職員全員に確実に共有することで、教職員間の情報共有や学生支援の迅速化を図る。
- ・オンライン教育用のLMS(eラーニングシステム)活用のガイドラインを令和2年度末までに作成。LA(Learning Analytics)に必要なデータを着実に蓄積。データに基づいた授業や学生指導の改善に着手。

③ 特記事項

④

3 教育活動			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式4
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか(iCD(i コンピテンシ ディクショナリ)と関連付けて到達目標を明確にできているか)	4 ③ 2 1	文科省プロジェクト成果物
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 ② 1	年間学習フレーム学習ガイド
3	4	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1	年間学習フレーム資格対策科目学習ガイド
3	6	講義および実習に関するシラバスは作成されているか(学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか)	4 ③ 2 1	学習ガイド
3	7	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Do を意識した到達目標の明示)	4 ③ 2 1	学習ガイド 学習ガイド作成の手引き
3	8	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式3、様式4
3	9	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)は事前に学生に配布され、授業で有効活用されているか	4 3 ② 1	学習ガイド 授業アンケート結果
3	10	実技・実習が講義と連動するなど、効果的学習に配慮されているか	4 ③ 2 1	年間学習フレーム
3	11	カリキュラムに関し、定期的に外部者(IT 企業、情報系業界団体等)の評価や意見を取り入れているか	③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	12	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則(情報セキュリティ、個人情報の管理・取扱い、著作権、SNS の利用等)が整備され、公表されているか	4 ③ 2 1	個人情報保護規則 情報モラル基礎
3	13	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式4、学習ガイド
3	14	カリキュラムの作成・見直し等に関し、外部関係者からの評価や意見を取り入れているか	4 ③ 2 1	教育課程編成委員会議事録
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4 ③ 2 1	共有フォルダへのアクセス権設定
3	16	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1	ホームページ(中途採用情報)

① 課題

- ・カリキュラム編成委員会および教育課程編成委員会は確実に実施されているものの、授業運営の都合上、学科ごとに理想とする教育方針に従ったカリキュラムとして反映されていない部分がある
- ・Can-Do を意識した到達目標を設定した「学習ガイド作成の手引き」が存在し、全教員に配布・説明されているが、一部科目において手引きに沿った記載がなされていない。また、一部科目において初回授業でシラバスの配布がなされていない。
- ・教員が自身の主担当学科以外の学科の学生の科目を担当する際に、その学科の教育方針や他の科目との関連性などを把握しきれずに指導してしまう事がある。

② 今後の改善方策・

- ・カリキュラム編成委員会等で決定した方針や学科ごとの教育方針を全教員で事前に共有し、たとえ同一科目であっても学科毎にアレンジして講義できるような体制を整える
- ・各学科の責任者および学年主任が全ての授業科目のシラバスを点検し、「学習ガイド作成の手引き」に準拠していない科目については科目責任者に指導を行い、修正することとする。
- ・全教員が主担当学科以外の学科のカリキュラムや授業資料を閲覧したり授業を見学したりできる仕組みを整えることで、学科ごとに連続性を持った授業展開を行いやすくする

③ 特記事項

4 学修成果			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(iCDのタスクと関連付けて明確にした到達目標やその目標達成のためのカリキュラムが妥当であるか)	4 3 ② 1	文科省プロジェクト成果物
4	2	目標とする資格試験への合格率はどうか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式4
4	3	卒業生の就職率はどの程度か	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット 職業実践専門課程の様式4
4	4	退学率の低減が図られているか	③ 2 1	職業実践専門課程の様式4
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	4 3 ② 1	就職先アンケート 卒業生交流会実施要項
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4 ③ 2 1	学習ガイド
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4 ③ 2 1	職業実践専門課程の様式4 人事考課の手引き
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4 ③ 2 1	成績証明書 卒業証書
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4 ③ 2 1	令和元年度第1回経営 会議資料
4	10	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4 ③ 2 1	横浜栄高校連携講座受 託契約書
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1	就職先アンケート実施レ ビュー

① 課題

- ・情報処理科では iCD のタスクと関連付けて到達目標を明確化しているが、他学科では取り組みが不十分である。
- ・卒業生の就職後の動向の把握については、就職先アンケートにて直近の数年は状況を把握できているが、その後のキャリアや具体的な活躍事例の情報を得ることが難しい。
- ・卒業後の就職その他の支援は行っているが、積極的に利用されているとは言い難い。

② 今後の改善方策

- ・情報処理科以外の学科についても iCD のタスクと関連付けた到達目標の明確化を進める。情報系以外の学科は iCD 以前の指標である ITSS が採用されており、iCD の適用を行う。情報系以外の学科については、iCD の適用範囲を定め、それ以外の部分について iCD に代わる指標を検討する。
- ・就職指導の活動の中で、企業の人事部と接触する際に卒業生の情報を得る機会が多く、そこで得た情報を共有する。
- ・卒業後の就職支援については、在校生向けの就職ポータルサイトの刷新に合わせて、卒業生への情報発信の強化に務める。

③ 特記事項

5 学生支援			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	就職準備講座学習ガイド 組織図
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き 学内カウンセラーについて
5	3	保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1	保護者宛発送文書 保護者ガイダンス資料
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット (ITライセンス科)
5	5	卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1	校友会ホームページ
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き 快適な学園生活のために
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	学生募集要項 岩崎ともみ奨学財団募集要項
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1	健康診断実施要領
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	クラブ活動一覧 インターンシップ・コンテスト報告 会実施要領
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1	学内カウンセラーについて 学生カルテ
5	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1	高専連携講座契約書

① 課題

- ・来校した卒業生に対する就職等の個別支援は随時行っているが、組織的な取り組みには至っていない
- ・奨学金等の利用者が増えてきており、対応する職員側の体制強化が必要とされてきている。

② 今後の改善方策

- ・学園祭に合わせて卒業生交流会を実施している。その中で、卒業生のニーズ把握に努める。また、学校関係者評価委員会にて卒業生委員より意見聴取を行う
- ・卒業後の就職支援についても組織的に実施可能な仕組みをつくっていく
- ・令和元年度より、従来学校法人本部が取りまとめていた同窓会組織を学校ごとに機動的に活動できるよう改組し、卒業生と在校生の交流を促進したり、学校と卒業生のつながりの場を作ったりといった活動を促進する。
- ・奨学金等の経済的支援に対応する職員の体制をみなおし強化していく
- ・学園内に多数存在しているクラブ活動の種類を「文科系」、「スポーツ系」、「専門分野系」といった分類で分かりやすく整理・公開することで、より多くの学生が課外活動に参加する接点を設ける。

② 特記事項

6 教育環境		優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・ 1	エビデンス(文書番号)
6	1	③ 2 1	R01 年度担当割・教室割
6	2	4 ③ 2 1	MS、シマンテックのサイト ライセンス
6	3	4 ③ 2 1	備品管理台帳
6	4	4 ③ 2 1	R01 年度担当割・教室割
6	5	4 ③ 2 1	避難訓練実施要領 防犯訓練実施要領
6	6	4 ③ 2 1	防災組織図
6	7	4 ③ 2 1	インターンシップ・コンテスト報告 会実施要領

① 課題

- ・備品は定期的に点検・更新を行っているが、卒業研究等での貸し出し対応等に柔軟に対応できていない面がある。

② 今後の改善方策

- ・備品の管理台帳に「貸し出し責任者」、「利用目的」、「利用者」、「貸出期限」を追記し、貸し出しに対応できる体制を整備する。

③ 特記事項

- ・学校法人岩崎学園総務部の指導のもと、防災体制を見直している
- ・毎年、不審者・暴漢の侵入を想定した防犯訓練を警察の指導の下で実施している

7 学生の受入れ募集			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4 3 ② 1	学生募集要項
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4 ③ 2 1	学生募集要項
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1	入学案内パンフレット
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4 ③ 2 1	見学者からの問合せ記録
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4 ③ 2 1	学生生活の手引き 個人情報保護規定
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	学生募集要項

① 課題

- ・令和2年4月から「高等教育の修学支援新制度」が開始予定。本校は対象機関として認定されたので、支給対象要件を満たす入学検討者に正確な情報提供が必要であるが、年度途中に同制度の導入が決まったため、募集要項に反映できていない。
- ・学内でグローバルな視点を持った人材の育成を進めている中で、募集段階で十分な情報発信を行えていない

② 今後の改善方策

- ・令和3年度入学生用の募集要項から情報を掲載。また、オープンキャンパス等のイベント時に文部科学省が提供しているリーフレットを用いて正確な情報を提供していく。
- ・グローバルな視点を持った人材の育成の促進を図るため、同内容を踏まえた特待生制度導入を検討。また、短期留学できる制度を周知できるツール作成を検討。

③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4 ③ 2 1	授業アンケート
8	2	専任教員による相互評価など、適切な評価体制を有し、授業評価を行っているか	4 3 ② 1	授業改善面談表
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4 ③ 2 1	備品管理台帳
8	4	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4 ③ 2 1	職務記述書 人事考課の手引き
8	5	教職員に対する専門分野(IT 分野及び関連分野)に応じた能力開発のための研修制度ないし機会はあるか。(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4 ③ 2 1	職業実践専門課程 の様式 4
8	6	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1	教職員一覧
8	7	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1	個人情報保護規定
8	8	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 ③ 2 1	情報科学専門学校学則
8	9	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	4 3 ② 1	文書管理規定
8	10	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1	自己点検評価表 内部監査報告書
8	11	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 ③ 2 1	内部監査報告書
8	12	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4 3 ② 1	内部監査報告書
8	13	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4 3 ② 1	内部監査報告書
8	14	自己点検・評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1	自己点検評価表

① 課題

- ・国際規格等も参考にしながら、自己点検評価および内部監査を行っているが、現状では学内に内部監査の技術を有する適任者が少ないため、内部監査後のオブザベーション(改善要求)の達成状況の確認が十分に行えていない状況である。
- ・授業の相互評価に関する規定はあり、全教職員に周知徹底されている。一方で、授業をオンラインで実施した場合の相互評価の組織的な進め方は模索中である。

② 今後の改善方策

- ・令和3年度からの運用を目標としてオンライン授業での教員同士の相互授業見学システムの開発に着手。
- ・主に管理職を対象とした内部監査についての研修実施を検討する。

③ 特記事項

9 財務			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1	独立監査人の監査報告書 (令和元年度)
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4 ③ 2 1	ホームページ
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1	平成 28～令和元年度決算書
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	平成 28～令和元年度予算書

① 課題

- ・特になし

② 今後の改善方策

- ・特になし

③ 特記事項

- ・現状財務基盤は安定しており、継続的な学校運営に問題ない状況である

10 社会貢献・地域貢献			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	エビデンス(文書番号)
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1	小学生向けプログラミング講座特集記事 高校生セキュリティコンテスト実施要領 県高校教科研究会事例報告会会場
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1	「夢絵コンテスト」ホームページ
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1	専門実践教育訓練講座指定等通知書

① 課題

- ・公開講座や教育訓練は個別の依頼に応じる形式で行っているが、活動自体をより広く地域に発信することで、今後の多くの取り組みにつながるような仕組みづくりが今後望まれる。

② 今後の改善方策

- ・社会人向けのリカレント教育や多様な対象に対するプログラミング教育等、専門職業教育機関に期待される講座について調査・設計を進め、地域への発信も積極的に行っていく。
- ・地域の取り組みに積極的に学生を関わらせていき、それを発信していくしくみを作っていく。

③ 特記事項

11 国際交流(必要に応じて)			優良・4、適切・3、 やや不適切・2、不適切・ 1	エビデンス(文書番号)
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1	留学生学生募集要項

① 課題

- ・近年、入学を希望する留学生がおらず、留学生の在籍数は0名となっている。
- ・意欲ある学生の留学を支援する「G-Leader 留学支援プログラム」を本年度より導入したが、利用者がまだ少ない状況である。

② 今後の改善方策

- ・グローバルな視点を持ち、国際的な活躍を夢見る入学希望者支援する新しい特待生入学制度「G-Leader 特待生」を令和2年度より導入予定。教職員や学生の国際的な視野を広げることで、留学生にとって魅力ある学校づくりを推進する。

③ 特記事項